

## 【生団連通信 Vol.5】

### 夜間中学に訪問してきました

こんにちは！生団連事務局で「外国人の受入れに関する委員会」を担当している松本です。  
「現地現物」の事務局として先般、荒川第九中学校で開かれまして東京都中学校夜間学級説明会に参加してまいりました。  
今日はその時に得た情報を皆様に共有させていただきます。

#### ・夜間中学に通う生徒の 8 割が外国人

説明会では日本人の参加者の方が多かったのですが、  
その後に参加させてもらった荒川第九中学校の授業見学では、生徒の 8 割近くが外国人でした。

#### ・教育のセーフティネットとしての役割を大きく果たす夜間中学

説明会には夜間中学の現役・OB の生徒から話を聞く機会がありました。  
みんな様々な背景があって夜間中学で学んでおられます。

中国の福建省から夫の暴力に耐えかね日本に逃げてきた女性もいらっしゃいました。  
彼女は 20 年近く日本で働いている中で、勉強をしたいという想いが常にあったとのこと。  
中国でも貧しくて、学校に通ったことがなかったけれど、自分の子供に勧められて子供が通っていた夜間中学で勉強を始めることができ、今は勉強できることがとても楽しいということでした。

在留外国人の人数が増える中で、夜間中学の果たす役割はますます大きくなっていくのだと実感することができました。